

美馬市まち・ひと・しごと創生総合戦略

平成27年10月

平成28年11月改訂

美 馬 市

目 次

I	はじめに～基本的な考え方～	1
II	基本姿勢	1
	1. 「総合戦略」の位置づけと計画期間	1
	2. 「総合戦略」の推進	1
	3. 検証と改善（「PDCAサイクル」の構築）	2
III	基本目標と基本的方向、具体的な施策	3
	1. 本市の特性と課題（強み・弱み）	3
	2. 基本目標と基本的方向、具体的な施策	3
	（1）全体像（4つの基本目標と相互の関係）	3
	（2）基本目標と基本的方向、具体的な施策・重要業績 評価指標（KPI）	4
	《基本目標①》 本市にしごとをつくり雇用の創出や所得の増加 を実現する	4
	《基本目標②》 本市への新しいひとの流れをつくる	8
	《基本目標③》 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	11
	《基本目標④》 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守る とともに、地域と地域を連携する	13

美馬市まち・ひと・しごと創生総合戦略

I はじめに～基本的な考え方～

本市における人口の減少は、地域経済への影響だけでなく、市民の生活基盤を揺るがし、将来的に「住み慣れた地域で暮らしてゆけなくなる」ことも想定しなくてはならない、危機的な水準に至ると推計されている。こうした認識の下、「人口減少に少しでも『歯止め』をかける」ことと、「人口が減少しても住み慣れた地域で安心して暮らし続けることのできる基盤をつくる」ことに両面から取り組むことを、本総合戦略の基本的な考え方とする。

人口減少の「歯止め」については、大塚製薬(株)の工場立地等の機会を活かし、雇用の創出をはじめ、製造業や農・林業等の基盤産業が、小売業、対個人サービス業等の非基盤産業を牽引する「地域経済の好循環」をつくることを柱として「社会増」を実現し、結婚～妊娠～出産～育児までのきめ細かな施策の展開により「自然減」の抑制をめざす。

これにより、「美馬市人口ビジョン」で示した2060年の本市人口「2万人」を確保する。

II 基本姿勢

1. 「総合戦略」の位置づけと計画期間

- 「まち・ひと・しごと創生法」第10条に基づき、「美馬市人口ビジョン」で描く将来展望に向け、人口減少問題の克服と持続可能な地域づくりに向けた施策の方向性を位置づける計画とする。
- 第2次美馬市総合計画（平成27～31年度）との整合を十分に図り、「しごと」と「ひと」の好循環を「まち」が支える関係を構築して、人口減少問題の克服に果敢に挑みつつ、人口減少の市民生活への影響を最小限に留める取組を併せて行う。
（「攻め」と「守り」の両面戦略）
- 計画期間は、今後5年間（平成27～31年度）とする。

2. 「総合戦略」の推進

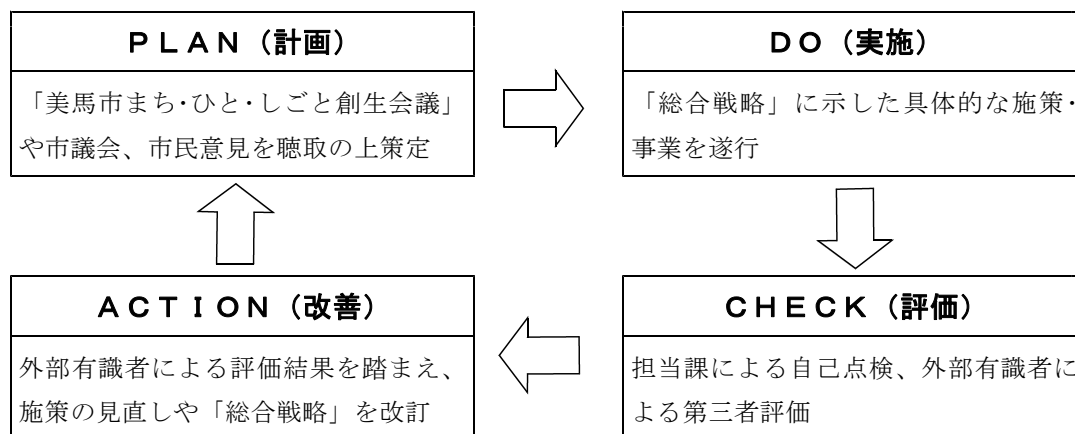
- 産官学金労言の各界代表者に地域住民代表を加えた「美馬市まち・ひと・しごと創生会議」を核として「総合戦略」を推進する。
- 国の総合戦略に盛り込まれた「政策5原則（自立性、将来性、地域性、直接性、結果重視）」の趣旨を踏まえて、効果的に施策を推進する。
- 「総合戦略」に基づく施策を強力に推進するため、庁内に司令塔となる組織を立ち上げる。

- パブリックコメント、アンケート調査の活用を図るなど、幅広い市民意見の聴取を行う。
- 「総合戦略」の策定に際し参考にした、「地域経済分析システム（RESAS）」のデータについて、「総合戦略」の推進に当たっても引き続き活用していく。

3. 検証と改善（「PDCAサイクル」の構築）

- 「総合戦略」においては、「4つの基本目標」を掲げるとともに、基本目標ごとに5年後の目標を設定する。
 また、基本目標の達成に向け、具体的な施策ごとに「重要業績評価指標（KPI=Key Performance Indicator）」を設定し、これらの目標等を基に、実施した施策・事業の効果を検証し、改善（総合戦略の見直し）を行う仕組み「PDCAサイクル」を確立する。
- 効果検証と改善見直しを、外部有識者の参画により実施する。

■ PDCAサイクルのイメージ



Ⅲ 基本目標と基本的方向、具体的な施策

1. 本市の特性と課題（強み・弱み）

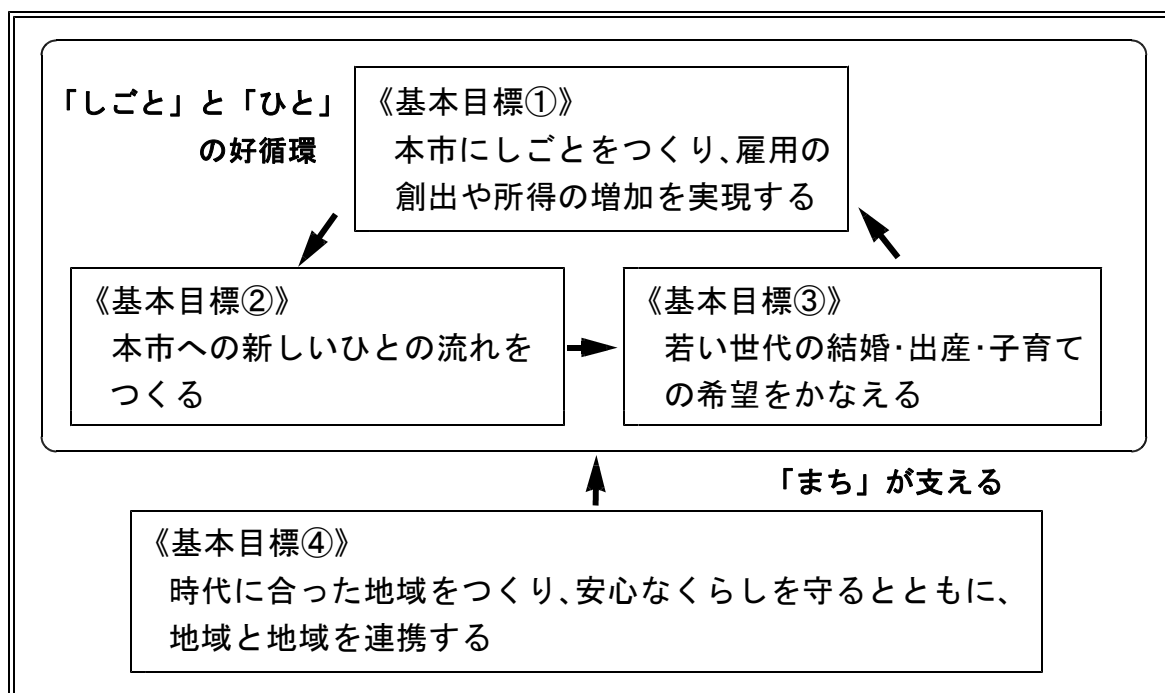
- 特 性**
- ・ 剣山や吉野川・穴吹川など自然環境が豊かで、うだつの町並みや寺町などの歴史的・文化的資源にも恵まれている。
 - ・ 気候は温暖で大規模な災害も少ない。
 - ・ J Rの駅が2つ(うち1つは特急停車駅)、徳島自動車のICも2つあり、交通の結節点となっていて、四国各県の県都へも利便性が高い。
(神戸市についても2時間圏内)
 - ・ 大塚製薬(株)の工場立地やパナソニックヘルスケア(株)の生産拠点集約など、地域経済を支える製造業において雇用の拡大が期待できる。
 - ・ 都市部と比較して3世代同居・近居も多く、子育てに適した環境にある。

- 課 題**
- ・ 若年層の人口流出が著しく、そのことが出生数の減少を招く「負のスパイラル」に陥っている。
 - ・ 若年層を中心に「買い物」や「遊び」は徳島市や高松市をはじめ市外に求めることが多く、消費の流出が見られる。(地域でお金が回らない)
 - ・ 低年齢児保育や病児保育など、近年高まりを見せている保育ニーズに十分対応しきれていない面がある。
 - ・ 人口減少により活動が困難となりつつある地域コミュニティについて新たな対策が必要となっている。

2. 基本目標と基本的方向、具体的な施策

(1) 全体像（4つの基本目標と相互の関係）

「しごと」と「ひと」の好循環をつくり、「まち」が支えるという関係を構築する



(2) 基本目標と基本的方向、具体的な施策・重要業績評価指標（KPI）

《基本目標①》

本市にしごとをつくり、雇用の創出や所得の増加を実現する

(国) 地方における安定した雇用を創出する

(県) 地域における仕事づくり

社会減を抑制（転出の抑制・転入の促進）するためには、地域において雇用を創出するとともに、市民の所得を増加させ、地域経済の好循環をつくる必要がある。

総務省統計局ホームページ「地域の産業・雇用創造チャート『地域産業構造の見方、捉え方』（中村良平・岡山大学大学院・経済学部教授）」によると、「基盤産業が非基盤産業を牽引する」「地域の人口は基盤産業の規模に応じたものとなる*」とされ、域外を主たる販売市場とする製造業や農・林業、観光業などの基盤産業が、域内を主たる販売市場とする小売業や対個人サービス業などの非基盤産業を牽引することが指摘されている。

本市においては、大塚製薬(株)の工場立地や、パナソニックヘルスケア(株)の生産拠点集約を好機ととらえ、関連企業や取引企業など「医療・健康」産業の集積や、本市の強みと言える「化学（化粧品・歯磨等化粧品用調整品製造業）」産業等において雇用の拡大につながる生産基盤の充実支援に取り組む。また、農・林業においてもブランド化による付加価値の向上や販路拡大、基盤整備による生産コスト削減に取り組むとともに、にし阿波～剣山・吉野川観光圏の取組や、「美馬市版DMO」の形成、うだつの町並みの再生などを通じ、「儲かる」観光を追求する。

一方、基盤産業の充実を地域経済に波及させるため、「美馬市産業振興ビジョン」を策定して具体的な施策につなげるとともに、起業・創業や、事業承継の支援などに取り組む。

※ 地域の人口 = [基盤部門の従業者数] × 13

- 数値目標**
- ・ 製造業の新規雇用創出者数（5年間延べ）：200人（H26年度：一人）
 - ・ 起業・創業者数（5年間延べ）：45人（H26年度：一人）
 - ・ 新規就農・林業従事者（5年間延べ）：25人（H26年度：4人）
 - ・ 市内産直施設売上額：315,000千円（H26年度：300,000千円）
 - ・ 市産木材年間搬出量：27,000m³（H26年度：17,728m³）
 - ・ 市内観光地点観光入込客数：800,000人（H26年度：700,000人）
 - ・ 市内宿泊施設宿泊者数：65,000人（H26年度：53,631人）

《基本的方向》

- 交通の結節点としての立地ポテンシャルを活かし、本市の強みである「医療・健康」「化学」産業等の集積を通じて雇用の創出に取り組む。
- 起業・創業しやすい環境整備や後継者への事業承継の支援に取り組む。
- 農・林業における付加価値の向上や販路拡大、生産コスト削減に取り組むとともに、「儲かる」観光を追求する。

《具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）》

(1) 工場立地推進等による雇用創出

大塚製薬(株)の工場立地や、パナソニックヘルスケア(株)の生産拠点集約を好機ととらえ、関連企業や取引企業など「医療・健康」産業の集積を目指す。

また、本市の強みと言える「化学（化粧品・歯磨等化粧品用調整品製造業）」産業においても雇用の拡大につながる生産基盤の充実支援に取り組む。

(具体的な事業)

- 美馬市産業振興ビジョン策定事業 〈地方創生推進課〉

【KPI】ビジョン策定数：1（H26年度：－）

(2) 市民が起業・創業しやすい環境整備

空き家、空き店舗、廃校校舎の一部など市内の既存施設を活用し、市民が起業・創業しやすい環境を整備する。

(具体的な事業)

- 起業・創業支援事業 〈商工観光課〉

【KPI】起業・創業延べ件数（移住を除く）：10件（H26年度：－件）

- にし阿波・地域連携ビジネス創出支援事業 **広域連携**（先行型）

〈地方創生推進課〉

【KPI】事業参画社(校)数：毎年1社(校)（H26年度：－社(校)）

創業・新商品開発等の事業者数：毎年1社（H26年度：－社）

(3) 農・林業における付加価値の向上と販路拡大

農産物のブランド化による付加価値の向上や、生産・販路拡大などを通じて、農業における所得向上につなげる。

木材の生産コスト削減、流通システムの構築、森林基盤整備等により木材搬出量を増加させ、林業における所得向上と林業従事者の雇用確保につなげる。

(具体的な事業)

- 美馬市認定生産者ブランディング事業（先行型）〈農林課〉

【KPI】認定生産者数：60人（H26年度：－人）

- 美馬市産農林産物特選ブランド販売促進事業（先行型）〈農林課〉

【KPI】農林産物特選ブランド認定数：10ブランド（H26年度：4ブランド）

- 「かあちゃん野菜」生産・販路拡大事業（先行型）〈農林課〉

【KPI】「かあちゃん野菜」年間売上額：18,000千円（H26年度：6,000千円）

- ふるさと小包販売拡大支援事業（先行型）〈商工観光課〉

【KPI】ふるさと小包販売額：3,000千円（H26年度：414千円）

- 農産物等集出荷・買い物支援事業（先行型）〈商工観光課〉

【KPI】集出荷・買い物支援を行う「ええね美馬！」の会員数：400人

（H26年度：104人）

- みま木材普及新流通システム構築事業（先行型）〈農林課〉

【KPI】新システム利用住宅年間建築件数：6棟（H26年度：－棟）

美馬市産材利用相談件数（アンケート調査回答件数）

：400件（H26年度：9件）

美馬管内SGEC認証木材出荷量：15,000m³（H26年度：13,950m³）

(4) 「儲かる」観光の追求

にし阿波～剣山・吉野川観光圏の取組による教育旅行受入れの推進や、「美馬市版DMO（=Destination Management Organization）」の構築による体験観光プログラムの充実、地域の観光資源を活かした「滞在型」観光地への転換により、「儲かる」観光を追求する。

（具体的な事業）

- インバウンド対応事業（先行型）〈商工観光課〉
（訪日外国人受入環境整備事業を含む。）
【K P I】外国人年間宿泊客数：700人（H26年度：285人）
- 徳島剣山世界農業遺産推進事業 **広域連携**（先行型）〈商工観光課〉
【K P I】世界農業遺産国内候補選定件数：1件（H26年度：0件）
- にし阿波「日本版DMO」構築推進事業 **広域連携**〈商工観光課〉
（にし阿波観光圏整備事業（先行型））
【K P I】教育旅行年間受入泊数：1,000泊（H26年度：706泊）
市内宿泊施設宿泊客数：65,000人（H26年度：53,631人）
外国人年間宿泊客数：700人（H26年度：285人）
- 山間集落の暮らし体験を中心とした体験交流による地域づくり推進事業
（にし阿波観光圏整備事業） **広域連携**（加速化交付金）〈商工観光課〉
【K P I】2市2町エリア内の延べ宿泊客数：21万人（H26年度：19.7万人）
- 農林漁家民宿開業支援事業〈商工観光課〉
【K P I】農林漁家民宿開業数：21軒（H26年度：1軒）
- うだつの町並み再生プロジェクト推進事業（上乘せ・タイプI）〈商工観光課〉
【K P I】うだつの町並み観光入込客数：200,000人（H26年度：180,000人）
うだつの町並み周辺における空き家・空き店舗再生活用件数：
20件（H26年度：2件）
うだつの町並みボランティアガイド新規養成数：5人（H26年度：0人）
- にし阿波・広域公衆無線LAN（Wi-Fiスポット）設置箇所調査事業 **広域連携**
〈商工観光課〉
【K P I】公衆無線LAN設置箇所パンフレット作成件数：1件（H26年度：一件）
- 脇町・美馬両「道の駅」連携周遊観光プラン策定事業〈商工観光課〉
【K P I】プラン策定数：1（H26年度：－）
- うだつの町並みにおける「竹」を活用した体験メニュー開発と
「美馬の竹工品」ブランド確立事業（加速化交付金）〈商工観光課〉
【K P I】うだつの町並みにおける体験メニュー実施観光客数
：5,500人/年（H26年度：0人/年）
ふるさとわかまち(株)を通じた「美馬の竹工品」年間販売額

: 30,000千円 (H26年度: 0千円)

美馬和傘製作集団会員 (技術伝承者) 数: 30人 (H26年度: 8人)

美馬和傘製作に係る起業者数: 3人 (H26年度: 0人)

○ 「農林業×伝統工芸×観光」連携推進事業 (推進交付金) 〈商工観光課〉

【K P I】 「美馬の竹工品」年間販売額、体験プログラム等年間利用料及び

農林家民泊等年間宿泊料収入: 10,000千円

市内宿泊施設宿泊客数: 65,000人 (H26年度: 53,631人)

外国人年間宿泊客数: 700人 (H26年度: 285人)

《基本目標②》

本市への新しいひとの流れをつくる

(国) 地方へ新しいひとの流れをつくる

(県) 新しい人の流れづくり

ライフステージに対応したきめ細かな転出抑制・転入促進の施策を展開する。

まず、若年層の転出超過が著しい本市の実態をふまえ、「進学」「就職」「結婚」という3つの転出機会をターゲットとした転出抑制策を講じる。30代・40代の働き盛り世代に対しては、「住む場」「働く場」の環境整備に取り組み、移住・定住を促進するとともに、将来的な中・高齢層の「ふるさと回帰（U I Jターン）」を狙って、市出身者や美馬市にゆかりのある人々との「つながり」づくりに継続的に取り組む。加えて、イベントの開催を通じて「賑わい」をつくるとともに、将来的な移住を狙って「美馬市ファン」の獲得を目指す。

また、「住む場所」を決める大きな要素として教育環境が挙げられるが、本市及び近隣には、県内有数の進学実績を持つ高校や、選択科目が充実し少人数学習が展開されている単位制高校、資格取得に強みを発揮し地域に根ざした専門高校、知的障がい者を対象とする特別支援学校分校（高等部）が所在するなど、高校卒業まで多様なニーズに対応できる環境にある。本市としても、こうした強みを生かし、デジタル教科書の全小・中学校での展開をはじめ、特色ある英語教育や、山間部を除く全市への認定こども園の展開、ふるさとを愛する郷土教育など、市内外の子育て世代に「選ばれる」教育環境の充実に取り組む。

数値目標 ・転出超過数：2020（H32）年までに 0（転入転出数を均衡）

《基本的方向》

- 進学・就職・結婚をターゲットにした転出超過抑制策を展開する。
- 30代・40代の移住・定住を促進する。
- 市出身者や美馬市にゆかりのある人々と「つながり」をつくる取組を続け、将来的な中・高齢層の「ふるさと回帰（U I Jターン）」に結びつける。
- イベント開催などを通じて市外から人を呼び込み、美馬市に賑わいをつくるとともに「美馬市ファン」を獲得する。

《具体的な施策と重要業績評価指標（K P I）》

(1) 進学・就職・結婚をターゲットにした転出抑制・転入促進

若年層の転出超過が著しい実態を踏まえ、「進学」「就職」「結婚」をターゲットとした転出抑制・転入促進策を講じる。（就職支援については基本目標③に再掲）

（具体的な事業）

- みまっこキャリア教育事業 〈教育総務課〉

【K P I】中学生の市内企業に対する認知度：70%（H26年度：－%）

- 新規雇用奨励金支給事業 〈商工観光課〉
【K P I】制度利用による新規雇用者数：125人（H26年度：一人）
- 高校生等地元就職応援事業 〈地方創生推進課〉
【K P I】高校生等（高専生を含む）の地元就職者数：50人
（H26年度：22人[※]）※ 脇町、穴吹、つるぎ各高校卒業生のうちH26年度市内企業就職者数
- U I J ターン促進奨学金返還金助成事業 〈地方創生推進課〉
【K P I】制度利用によるU I J ターン者数：120人（H26年度：一人）
- U I J ターン就職支援事業（上乘せ・タイプⅡ） 〈地方創生推進課〉
【K P I】就職面接会等を通じたU I J ターン就職者数：25人（H26年度：一人）
- 企業ガイドブック作成事業 〈地方創生推進課〉
【K P I】企業ガイドブック延べ発行回数：2回（H26年度：一回）
- 新婚世帯家賃補助事業 〈地方創生推進課〉
【K P I】年間家賃補助件数：60件（H26年度：一件）

(2) 子育て世代に選ばれる教育環境の整備

優れた教育環境は、子育て世代にとって、「住む場所」を決める大きな要素となる。このため、幼・保一元化による認定こども園の整備を順次行うとともに、就学前から中学校卒業までの一貫した特色ある教育を展開し、市内外の子育て世代に選ばれる教育環境を整備する。

（具体的な事業）

- 認定こども園整備事業 〈子どもすこやか課〉
【K P I】認定こども園整備箇所数：2箇所（H26年度：1箇所）
- 就学前から中学校卒業までの一貫した特色ある英語教育（イングリッシュキャンプ実施事業を含む。） 〈子どもすこやか課・教育総務課〉
【K P I】独自習熟度判定年間合格者数（就学前）：10人（H26年度：一人）
中学校3年生英検3級以上合格者数：100人（H26年度：53人）
- ふるさとを愛する郷土教育事業 〈教育総務課〉
【K P I】小・中学生による郷土の歴史・文化等への認知度：70%（H26年度：-%）

(3) 移住・定住の促進と移住創業しやすい環境整備

県内外からの移住・定住を促進するため、「住む場」と「働く場」の確保等に取り組む。

（具体的な事業）

- 移住おむかえ事業（先行型） 〈地方創生推進課〉
【K P I】事業により移住した延べ世帯数：20世帯（H26年度：一世帯）
- サテライトオフィス誘致事業（先行型） 〈地方創生推進課〉
【K P I】サテライトオフィス誘致延べ件数：10件（H26年度：一件）
- 移住創業支援事業 〈商工観光課〉
【K P I】支援事業による移住創業件数：24件（H26年度：一件）
- 地方創生人材育成による「うだつの町並み」空き家・空き店舗再生事業
（推進交付金） 〈商工観光課・地方創生推進課〉

【K P I】うだつの町並み周辺における空き家・空き店舗再生活用による
美馬市への移住者数：27人（H26年度：6人）
うだつの町並み周辺における空き家・空き店舗再生活用件数
：20件（H26年度：2件）

- シニアパワーの活用を通じた「生涯活躍のまち」（美馬市版C C R C）推進事業（上乘せ・タイプⅠ）〈シニアパワー推進室・地方創生推進課〉

【K P I】「生涯活躍のまち」（美馬市版C C R C）への高齢者の移住（住替え）者数（空き家利用・申込み段階を含む）：100人（H26年度：一人）
シニアいきがい就労の求職者登録件数：50件（H26年度：18件）

- 美馬市生涯活躍のまちモデル推進加速化事業（加速化交付金）
〈地方創生推進課〉

【K P I】「生涯活躍のまち」（美馬市版C C R C）への高齢者の移住（住替え）者数（空き家利用・申込み段階を含む）：100人（H26年度：一人）
「生涯活躍のまち形成事業計画」策定数：1（H26年度：一）

(4) 市出身者等との「つながり」をつくる取組の継続

市出身者や美馬市にゆかりのある人々と「つながり」をつくる取組を続け、将来的な中・高齢層の「ふるさと回帰（U I Jターン）」に結びつける。

（具体的な事業）

- 「美馬市まほろばファン倶楽部」事業 〈地方創生推進課〉
【K P I】ファン倶楽部会員数：500人（H26年度：一人）
- 「近畿美馬市ふるさと会」連携強化事業 〈ふるさと振興課〉
【K P I】「近畿美馬市ふるさと会」会員数：345人（H26年度：265人）
- 大学等フィールドワーク調査・研修支援事業（先行型） 〈地方創生推進課〉
【K P I】フィールドワーク年間受入大学等数：6大学等（H26年度：1大学等）
- 企業・団体研修受入支援事業 〈商工観光課〉
【K P I】年間研修受入者数：500人（H26年度：一人）

(5) イベントの開催を通じた賑わいづくりと「美馬市ファン」の獲得

他県からの参加者が見込まれるイベントの開催を通じて「賑わい」をつくるとともに、将来的な移住を狙って「美馬市ファン」の獲得を目指す。

（具体的な事業）

- 高円宮牌グラススキージャパンオープン開催支援事業（先行型）
〈文化・スポーツ課〉
【K P I】全国・四国地区レベル大会受入延べ件数：5件（H26年度：一件）

《基本目標③》

若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

(国) 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

(県) 結婚・出産・子育ての環境づくり

若い世代の雇用や子育て世代の「働きやすい」環境整備を支援するとともに、「一歩踏み込んだ」婚活支援を展開することで、若い世代が結婚し、家庭を持つことのできる条件を整える。

また、3子以上の多子世帯への支援を充実して育児に対する負担を軽減し、「次の1子」への障壁を可能な限り取り除くほか、妊娠～出産～育児までの一貫したサポート体制を確立し、「美馬市人口ビジョン」で示した合計特殊出生率の目標(2025年:1.8, 2030年以降:2.1)の達成を目指す。

数値目標 ・合計特殊出生率:2020(H32)年までに1.5

・年間出生者数:2020(H32)年までに200人(H25年:179人)

《基本的方向》

- 若い世代の雇用や子育て世代の「働きやすい」環境整備を支援するとともに、「一歩踏み込んだ」婚活支援を展開することで、若い世代が結婚できる条件を整える。
- 3子以上の多子世帯への支援を充実して育児の負担を軽減し、「次の1子」への障壁を可能な限り取り除く。
- 「美馬市人口ビジョン」で示した合計特殊出生率の目標(2025年:1.8, 2030年以降:2.1)を達成するため、妊娠～出産～育児までの一貫したサポート体制を確立する。

《具体的な施策と重要業績評価指標(KPI)》

(1) 若い世代の雇用や子育て世代の「働きやすい」環境整備に対する支援

若い世代の雇用が確保され、子育て世代の「働きやすい」環境が整備されることで、安心して家庭を築き、子どもを産み、育てる条件が整う。雇用や「働きやすい」環境整備への支援を行う。

(具体的な事業)

- (再掲) 新規雇用奨励金支給事業 (商工観光課)

【KPI】制度利用による新規雇用者数:125人(H26年度:一人)

- (再掲) 高校生等地元就職応援事業 (地方創生推進課)

【KPI】高校生等(高専生を含む)の地元就職者数:50人

(H26年度:22人[※]) ※ 脇町、穴吹、つるぎ各高校卒業生のうちH26年度市内企業就職者数

- 「子育て支援企業表彰」事業(「みまっこはぐくみ多子世帯支援事業」(上乘せ・タイプⅡ)含む) (子どもすこやか課)

【KPI】就学前保護者アンケートにおける働きやすさ度:50%(H26年度:一%)

(2) 「一歩踏み込んだ」婚活支援の展開

従来型の婚活イベント支援にとどまらず、徳島県が実施する事業との連携・協力により、成婚までのサポートに取り組む。

(具体的な事業)

- まほろばめぐりあい事業 (先行型) (ふるさと振興課)

【K P I】婚活支援を受け結婚・婚約した年間組数：10組 (H26年度：一組)

(3) 妊娠～出産～育児までの一貫したサポート体制の確立

妊娠～出産～育児までの一貫したサポート体制を確立し、子どもを安心して産み、育てることができる環境を整えることで、出生数の増加につなげる。

また、ニーズの強い、屋内遊戯スペースや病児保育、低年齢児対応機能を備えた「多機能型子育て支援センター」を地域交流センター (パルシー) 内に整備し、子育て支援環境の充実を図る。

(具体的な事業)

- 不妊治療費助成事業 (美馬市こうのとり応援事業) (先行型) (保険健康課)

【K P I】助成制度を利用して妊娠が確認された延べ件数：50件 (H26年度：一件)

- 産後継続訪問事業 (保険健康課)

【K P I】訪問件数：30件 (H26年度：0件)

- 育児用品購入補助事業 (先行型) (子どもすこやか課)

【K P I】年間出生者数：200人 (H25年：179人)

- 育児用品レンタル料金助成事業 (子どもすこやか課)

【K P I】年間出生者数：200人 (H25年：179人)

- 満1歳誕生記念品事業 (ウッドスタート事業) (先行型) (子どもすこやか課)

【K P I】年間出生者数：200人 (H25年：179人)

- 多機能型子育て支援センター事業 (子どもすこやか課)

【K P I】センター年間利用者数：10,000人 (H26年度：一人)

低年齢児待機児童：0人 (H26年度：23人)

- 放課後児童クラブ整備事業 (子どもすこやか課)

【K P I】放課後児童クラブ設置箇所数：7箇所 (H26年度：5箇所)

- 放課後児童クラブ利用料軽減事業 (子どもすこやか課)

【K P I】小学校保護者アンケートにおける放課後対策満足度：80%

(H26年度：-%)

- 「第3子以降オールフリー」宣言事業 (子どもすこやか課)

(第3子以降の保育所、幼稚園、小・中学校に直接必要な費用無料化。「みまっこはぐくみ多子世帯支援事業」(上乘せ・タイプⅡ)含む。)

【K P I】年間出生者数：200人 (H25年：179人)

《基本目標④》

時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

(国) 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

(県) 活力ある暮らしやすい地域づくり

人口が減少しても、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることのできる基盤をつくる。そのための基本理念は「共創・協働」*であり、市と市民が共に考え、共に行動することが全ての原点となる。

人口減少に伴い地域コミュニティの活動が困難となることが想定されるが、廃校校舎等を活用して「集落ネットワーク圏」における「小さな拠点」を形成し、拠点を通じて地域と地域の連携を強めることで、コミュニティ機能を補完しつつ、買い物支援などの生活支援にもつなげる。

また、元気な高齢者に「出番」をつくるシニアパワー活用プログラムの取組を活かし、健康・長寿の実現に向けた取組と併せ、中・高齢層の移住・住替えを進め、「生涯活躍のまち」(美馬市版CCRC)づくりを展開する。

加えて、人口減少により行政のコンパクト化が必要となる。平成27年度に策定予定の「公共施設等総合管理計画」に基づき、公共施設の統廃合を進めるとともに、地域交流センター(パルシー)を美馬市版「コンパクトシティ」の拠点として整備し、市民の利便性を向上させる。

※ 第2次美馬市総合計画・基本構想「まちづくりの理念」

(2) 基本理念

まちを創っていくのは市民一人ひとりです。行政と市民は、情報や目的意識を共有し、共に考え、種々の施策に挑戦し、役割を分担しながら協働していきます。

このため、本市の将来像を実現するための基本理念は、次のように設定します。

『共創・協働』

この基本理念をもとに、将来像を実現していくために、まちづくりの方向として次の基本方向を設定します。

- [基本方向]
- ① 一人ひとりの市民が健康でいきいきと暮らせるまちづくり
 - ② 環境と調和し、安全・快適で便利なまちづくり
 - ③ 人が集い、交流がうまれる活力と魅力あるまちづくり

- 数値目標**
- ・「小さな拠点」形成数：4拠点（H26年度：－）
 - ・「生涯活躍のまち」(美馬市版CCRC)への高齢者の移住(住替え)者数(空き家利用・申込み段階を含む)：100人（H26年度：一人）
 - ・65歳以上高齢者のうち、就労やボランティア等に従事する人の割合：60%（H26年度：－%）

- ・美馬市版「コンパクトシティ」拠点整備箇所数：1箇所（H26年度：一箇所）
（地域交流センター（パルシー））

《基本的方向》

- 市と市民が共に考え、共に行動する「共創・協働」を推進する。
- 「集落ネットワーク圏」における「小さな拠点」の形成を通じ、「集落ネットワーク圏」における地域と地域の連携を強めるとともに、地域コミュニティの活性化や生活支援に取り組む。
- シニアパワー活用プログラムの取組を活かし、高齢者の移住・住替えを進める「生涯活躍のまち」（美馬市版CCRC）づくりを展開する。
- 人口減少に対応した公共施設の統廃合と、「コンパクトシティ」構想を推進する。

《具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）》

(1) 市民ボランティア活動への支援等「共創・協働」の推進

市民のボランティア活動に対する支援など、市と市民が共に考え、共に行動する取組を進めるとともに、新たな政策課題に対応するための研究活動に取り組む。

（具体的な事業）

- 消防団支障木伐採事業（まほろばクリーン作戦）（先行型）〈消防本部総務課〉
【KPI】まほろばクリーン作戦年間参加消防団員数：680人（H26年度：652人）
- 「共創・協働」推進プログラム事業〈企画政策課〉
【KPI】提案団体数：10団体（H26年度：5団体）
- 大学連携地域課題解決研究事業〈地方創生推進課〉
【KPI】研究プロジェクト延べ実施数：6（H26年度：－）

(2) コミュニティ活性化と中山間地域等の生活支援

人口減少の進展によりコミュニティ活動が困難となることが想定されることから、集落と集落をつなぐ「ネットワーク圏」において「小さな拠点」の形成を目指すとともに、中山間地域等において見回り服薬や買い物支援など生活支援を展開する。

（具体的な事業）

- 「集落ネットワーク圏」による「小さな拠点」形成事業〈地方創生推進課〉
【KPI】「小さな拠点」形成数：4（H26年度：－）
- 木屋平・古宮・口山地区見回り服薬サポート事業（先行型）〈総務福祉課〉
【KPI】見回り服薬サポート年間回数：300回（H26年度：69回）
- （再掲）農産物等集出荷・買い物支援事業（先行型）〈商工観光課〉
【KPI】集出荷・買い物支援を行う「ええね美馬！」の会員数：400人
（H26年度：104人）
- デマンドバス（美馬ふれあいバス）運行事業〈ふるさと振興課〉
【KPI】美馬ふれあいバス年間利用者数：14,500人（H26年度：14,147人）
- 木屋平地区過疎地有償運送事業〈総務福祉課〉
【KPI】過疎地有償運送事業による送迎業務の会員数：480人（H26年度：467人）

(3) シニアパワーの活用を通じた中・高齢層の移住受入れ・住替え支援

元気な高齢者に「出番」をつくる「シニアパワー活用プログラム」の取組を活かし、中・高齢層の移住受入れ・住替えを支援する。

(具体的な事業)

- **(再掲)** シニアパワーの活用を通じた「生涯活躍のまち」(美馬市版C C R C)推進事業(上乘せ・タイプⅠ) 〈シニアパワー推進室・地方創生推進課)
【K P I】「生涯活躍のまち」(美馬市版C C R C) への高齢者の移住(住替え)者数(空き家利用・申込み段階を含む): 100人 (H26年度: 一人)
シニアいきがい就労の求職者登録件数: 50件 (H26年度: 18件)
- **(再掲)** 美馬市生涯活躍のまちモデル推進加速化事業(加速化交付金) 〈地方創生推進課)
【K P I】「生涯活躍のまち」(美馬市版C C R C) への高齢者の移住(住替え)者数(空き家利用・申込み段階を含む): 100人 (H26年度: 一人)
「生涯活躍のまち形成事業計画」策定数: 1 (H26年度: 一)
- 自治体間連携特別養護老人ホーム整備事業 〈長寿・障がい福祉課)
【K P I】連携構想策定数: 1 (H26年度: 一)

(4) 健康・長寿の実現に向けた取組

市民が健康で長生きできるような取組を進める。

(具体的な事業)

- 農都・食農連携アンチエイジング推進事業 〈商工観光課)
【K P I】アンチエイジングメニュー開発数: 10 (H26年度: 一)
連携企業数: 5社 (H26年度: 一社)
- タブレット教材活用保健指導充実事業(上乘せ・タイプⅡ) 〈保険健康課)
【K P I】アンケートにより保健指導が分かりやすくなったと答えた人の割合: 80% (H26年度: 一%)
- 認知症対策事業 〈長寿・障がい福祉課)
【K P I】認知症サポーター数: 4,450人 (H26年度: 3,424人)
- 自殺予防対策事業 〈生活福祉課)
【K P I】自殺者数: 5人 (H26年度: 10人)

(5) 人口減少に対応した公共施設の統廃合と「コンパクトシティ」の展開

人口減少に対応してインフラを含む公共施設全般の見直しを行い、統廃合を進めるとともに、地域交流センター(パルシー)を美馬市版「コンパクトシティ」の拠点として整備し、市民の利便性を向上させる。

(具体的な事業)

- 「公共施設等総合管理計画」策定事業 〈総務課)
【K P I】計画策定数: 1 (H26年度: 0)
- 美馬市版「コンパクトシティ」拠点としての地域交流センター(パルシー)整備事業 〈プロジェクト推進課)
【K P I】美馬市版「コンパクトシティ」整備拠点数: 1 (H26年度: 0)